

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウィン・インターナショナル
 コード番号 2744 URL <http://www.win-int.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋沢 英海

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 村田 裕可

TEL 03-5688-0878

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,685	9.7	759	13.7	763	13.3	442	12.7
23年3月期第2四半期	14,295	0.8	667	△0.9	673	△0.7	392	1.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	36.24	—
23年3月期第2四半期	31.93	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年3月期第2四半期	15,001	—	6,739	—	44.9	552.30
23年3月期	14,728	—	6,674	—	45.3	542.47

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,739百万円 23年3月期 6,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	9.4	1,601	10.4	1,605	9.9	931	9.1	75.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	12,303,400 株	23年3月期	12,303,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	100,348 株	23年3月期	348 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	12,219,445 株	23年3月期2Q	12,303,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表した平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)に記載した予想数値から変更しておりません。
2. 当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における医療業界は、医療費抑制を目的とする近年の医療制度改革の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。医療機関におきましては、財政悪化からコスト削減に踏み切らざるを得ない環境になっており、納入業者に対する値下げ圧力が高まる傾向にあります。当社をはじめとする医療機器販売業者は、こうした顧客の置かれた環境を的確に把握し、ニーズに即した質の高いサービスを提供することが求められております。

このような状況のもと、当社は低侵襲治療と心臓治療というコアビジネスを軸に、業容拡大に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間における当社全体の売上高は15,685,465千円（前年同期比9.7%増加）、経常利益は763,645千円（前年同期比13.3%増加）、四半期純利益は442,782千円（前年同期比12.7%増加）となりました。

なお、当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高、経常利益は過去最高の結果となっております。

各区分の状況は以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		当第2四半期累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増減	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	増減率（%）
消耗品関連売上	14,083,261	98.5	15,522,562	99.0	1,439,300	10.2
その他売上	212,070	1.5	162,903	1.0	△49,167	△23.2
合計	14,295,332	100.0	15,685,465	100.0	1,390,133	9.7

<消耗品関連>

新規顧客の獲得を目指すとともに、既存顧客に対しても患者数の増加策を提案し、また従来取引のなかった診療科目にも積極的に営業を行うことで、販売数量を増加させることに注力いたしました。

この結果、主力の薬剤溶出ステント（DES）の販売数量が伸びたことや、ペースメーカー等の心臓律動管理（CRM）関連商品の販売が好調に推移いたしました。その他にも、下肢や頭頸部等、末梢血管の低侵襲治療で用いられるPTAバルーンカテーテルや動脈瘤の低侵襲治療で用いられるステントグラフト等の販売が増加いたしました。また、目標販売数量等を設定した上でのリポートプログラム等により利益率の維持、向上に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は15,522,562千円（前年同期比10.2%増加）、売上総利益は2,036,583千円（前年同期比10.0%増加）となりました。

<その他>

消耗品関連の営業部門との連携を強化し、医療設備建築や大型医療機器販売に関する情報を正確かつ迅速に把握することで、消耗品ビジネスと一体になった営業活動に注力いたしました。

しかしながら、前期にあったような大型医療機器の販売が減少したため、当第2四半期累計期間の売上高は162,903千円（前年同期比23.2%減少）となりましたが、売上総利益は30,496千円（前年同期比7.4%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前期末と比較して272,414千円増加して、15,001,076千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が211,556千円増加したことや現金及び預金が50,036千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前期末と比較して206,809千円増加して、8,261,386千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が194,008千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して65,604千円増加して、6,739,690千円となりました。これは、前期の配当金の支払により307,576千円減少したことや自己株式の取得により61,000千円減少した一方、四半期純利益により442,782千

円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前期末と比較して50,036千円増加して、4,076,745千円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、純粹な営業活動において得られた収入が850,743千円（前年同期は404,866千円の収入）ある一方、法人税等を286,917千円支払ったこと（前年同期は377,903千円の支払）等により、565,481千円の収入（前年同期は30,211千円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により66,327千円の支出（前年同期は18,157千円の支出）があったこと等により、107,045千円の支出（前年同期は5,731千円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を307,576千円支払ったこと（前年同期は319,885千円の支払）や自己株式の取得により61,224千円の支出があったこと（前年同期は56千円の支出）等により、408,400千円の支出（前年同期は359,541千円の支出）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間においては、新規顧客の開拓と取扱商品の領域を拡大することをはじめとした既存顧客の深耕に傾注する一方、仕入先との仕切価格交渉や、目標販売数量等を設定した上でのリベートプログラムを実施することにより、概ね計画通りに推移いたしました。

従いまして、平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表した平成23年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）に記載した予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,026,709	4,076,745
受取手形及び売掛金	7,947,010	8,158,566
商品	778,127	742,073
その他	275,337	307,316
貸倒引当金	△250	△260
流動資産合計	13,026,934	13,284,442
固定資産		
有形固定資産	1,168,387	1,180,217
無形固定資産	95,677	103,233
投資その他の資産	437,662	433,183
固定資産合計	1,701,727	1,716,634
資産合計	14,728,661	15,001,076
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,235,678	7,429,686
1年内返済予定の長期借入金	72,600	74,000
未払法人税等	286,671	326,959
賞与引当金	107,125	119,468
その他	146,801	133,443
流動負債合計	7,848,875	8,083,559
固定負債		
長期借入金	41,000	—
退職給付引当金	163,701	176,827
その他	1,000	1,000
固定負債合計	205,701	177,827
負債合計	8,054,576	8,261,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,625	330,625
資本剰余金	196,875	196,875
利益剰余金	6,116,870	6,252,076
自己株式	△202	△61,202
株主資本合計	6,644,168	6,718,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,916	21,315
評価・換算差額等合計	29,916	21,315
純資産合計	6,674,085	6,739,690
負債純資産合計	14,728,661	15,001,076

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,295,332	15,685,465
売上原価	12,415,510	13,618,386
売上総利益	1,879,821	2,067,079
販売費及び一般管理費	1,212,300	1,308,017
営業利益	667,520	759,062
営業外収益		
受取利息	1,298	419
受取配当金	3,492	2,028
不動産賃貸料	1,825	1,825
その他	1,253	1,432
営業外収益合計	7,870	5,705
営業外費用		
支払利息	1,582	852
自己株式取得費用	—	224
その他	45	45
営業外費用合計	1,628	1,122
経常利益	673,762	763,645
特別利益		
投資有価証券売却益	5,607	36
特別利益合計	5,607	36
特別損失		
固定資産除却損	739	659
特別損失合計	739	659
税引前四半期純利益	678,630	763,023
法人税等	285,771	320,240
四半期純利益	392,859	442,782

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	678,630	763,023
減価償却費	50,489	82,771
売上債権の増減額 (△は増加)	672,580	△211,556
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△269,877	36,053
仕入債務の増減額 (△は減少)	△658,738	194,008
その他	△68,218	△13,556
小計	404,866	850,743
法人税等の支払額	△377,903	△286,917
その他	3,248	1,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,211	565,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,157	△66,327
投資有価証券の売却による収入	35,009	64
その他	△11,119	△40,781
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,731	△107,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△39,600	△39,600
自己株式の取得による支出	△56	△61,224
配当金の支払額	△319,885	△307,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,541	△408,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△323,598	50,036
現金及び現金同等物の期首残高	3,933,410	4,026,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,609,811	4,076,745

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。